

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスみんと			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日				

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様が安心して楽しく過ごせる環境を作っていること。	・お子様への対応や状況について、どのようにしたら一番安心して楽しく過ごせるのが常にミーティングやフリートークで話し合えること。 ・お子様の個性や特性を職員全員が理解していること。 ・職員も楽しい気持ちになれるよう支援していること。	・お子様の個性や特性をより理解出来るよう、関連する研修（外部・内部）に積極的に参加すること。 ・人間性を高めること。
2	お子様だけでなく、保護者様の満足度も高いこと。	・送迎時や面談、連絡帳で気軽に相談していただけるよう心がけていること。また、お子様の様子を詳細にお伝えしていること。 ・お子様や保護者様の意向を大切に、個別支援計画の立案時に職員全員でミーティングすること。	・自己研鑽に励むこと。 ・職員全員がそれぞれの専門性を活かし、保護者様へ適切なアドバイスが出来るよう、スキルアップしていくこと。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流や保護者会の機会が少ないこと。	・土曜日は、保護者様のレスパイトや就労のためご利用が多く、保護者同士の交流や保護者会の機会を設けることが難しいため。	・保護者様から保護者同士の交流や保護者会の機会についての意見を伺い、開催について検討していく。
2	地域住民との交流が少ないこと。	・以前は商店街に買い物体験が出来る店があったが、現在はなくなってしまったため地域住民と交流をする機会がなくなってしまったため。 ・地域住民と交流するイベント等が事業所にも地域にもないため。 ・平日はご利用の時間が短く、地域の方々と関われる時間が確保出来ないため。	・お子様の特性に配慮しながら、地域住民との交流を設けられるような社会資源を開拓する。
3			